

「神戸森林植物園の自然観察会」 観察の眼

コース 正門入口～シアトルの森～ブリスパーンの森

観察日: 平成30年12月14日

記録: 3班 山口千恵子 青木 茂



コショウノキ(ジンチョウゲ科)



ヤブランの種子
(キジカクシ科)



カラタチバナ
(サクラソウ科)
別名 百両



ハクモクレンの冬芽
(モクレン科)
芽鱗が2回ぐらい
脱げ落ちると蕾。

モクレンの冬芽
(モクレン科)
別名 シモクレン



ハクウンボクの冬芽
(エゴノキ科)
一年枝に冬芽、エゴノキと同じ副芽。



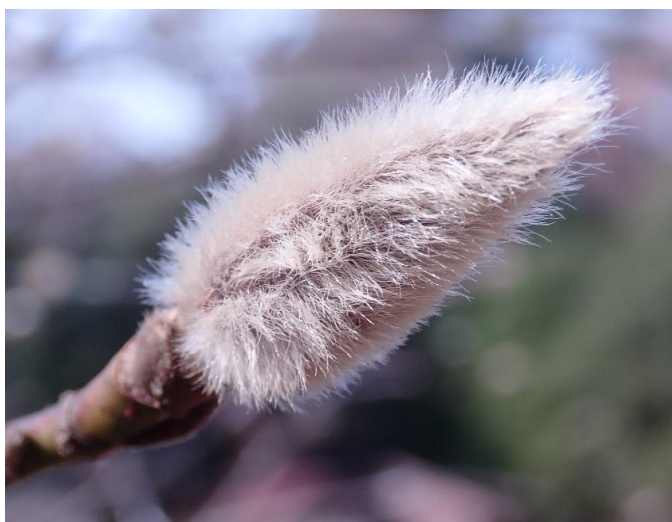
チドリノキの翼果と冬芽
(ムクロジ科)



シラカバ林
(カバノキ科)



ミズメの樹皮
(カバノキ科)
枝や幹が傷つくと強い湿布薬
(サルチル酸メチル)のにおいがする。



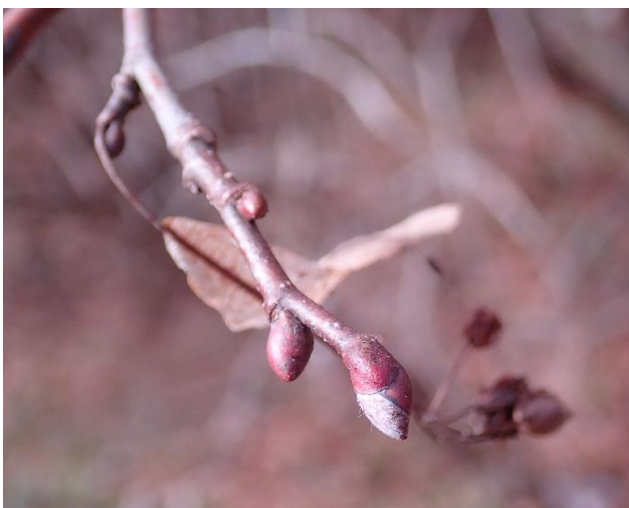
コブシの冬芽
(モクレン科)
花芽は白い長毛が密生する。



イボタノキ
(モクセイ科)
果実は核果。葉が落ちて実も枝に残る。



マンシュウボダイジュの冬芽
(アオイ科)



シナノキの冬芽
(アオイ科)
葉腋に密毛がある。
花序にへら形の苞(総苞葉)がある。



ハクサンボク(レンプクソウ科)
葉は常緑で肉厚。



アカエゾマツ
(マツ科)



ウラジロモミ
(マツ科)
気孔帯は白色でモミより目立つ。



ナナカマドの冬芽
(バラ科)
冬芽の先は尖る。



アオツツラフジの果実
(ツツラフジ科)



ウツギ
(アジサイ科)
果実は蒴果。先端には
花柱が残る。



ハコネウツギの果実(蒴果)
(スイカズラ科)



ズミ(バラ科)
別名 コリンゴ

冬芽は暗い赤色で水滴形。



クチナシの果実
(アカネ科)
果実は液果。先端に萼片が残る。



カマツカ(バラ科)
果柄にイボ状の皮目が目立つ。



ウルシの果実
(ウルシ科)



ウグイスカグラ
(スイカズラ科)

徒長枝では、節に
ハカマ(托葉)がつく。



ヤマボウシの冬芽
(ミズキ科)
葉芽は円錐形。花芽は水滴形でふくらみが
大きい。鹿の角状に長枝が伸びることが多い



ツノハシバミの冬芽
(カバノキ科)
赤みを帯びた卵形～水滴形の冬芽。雄花序は
裸芽で枝の途中につく。



クロモジの冬芽
(クスノキ科)



シロモジの冬芽
(クスノキ科)



アオキ
(アオキ科)



タカノツメの冬芽
(ウコギ科)
冬芽がタカの爪に似ている。



コガクウツギの果実(蒴果)
(アジサイ科)



チョウセンレンギョウ
(モクセイ科)



カラマツの林
(マツ科)



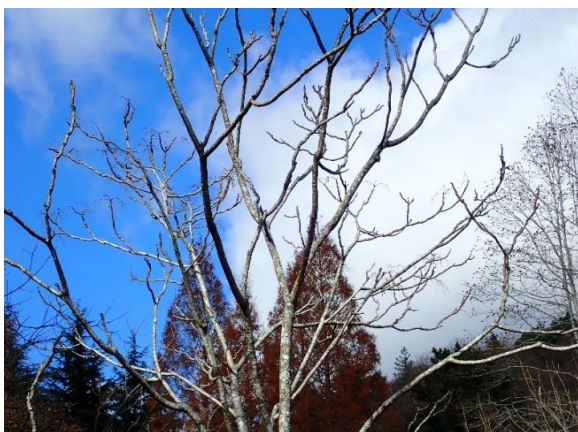
アメリカフウの翼
(フウ科)



ガmazumiの果実
(レンプクソウ科)
果実は核果。鮮やかに赤熟する。



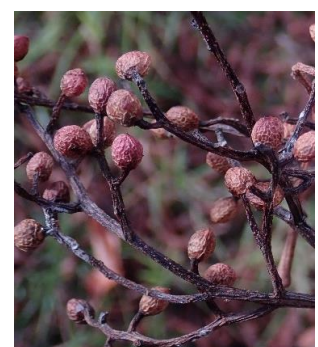
シーボルトノキの果実
(クロウメモドキ科)



カイノキ
(ウルシ科)
別名 ランシンボク
学問の木。楷書にちなんで名付けられた。



カイノキの冬芽



カイノキの
果実



ヒイラギモチ
(モチノキ科)
別名 シナヒイラギ



カンレンボクの果実
(ヌマミズキ科)
別名 キジュ
バナナの実に似ている。抗がん作用がある。



ギンヨウアカシア
(マメ科)
別名 ミモザ



フサアカシア
(マメ科)
別名 ミモザ



クマノミズキの冬芽
(ミズキ科)
頂芽は筆ペンの先に似ている。



ウラジロノキの樹皮
(バラ科)
皮目は白い。若木は菱形の皮目がある。



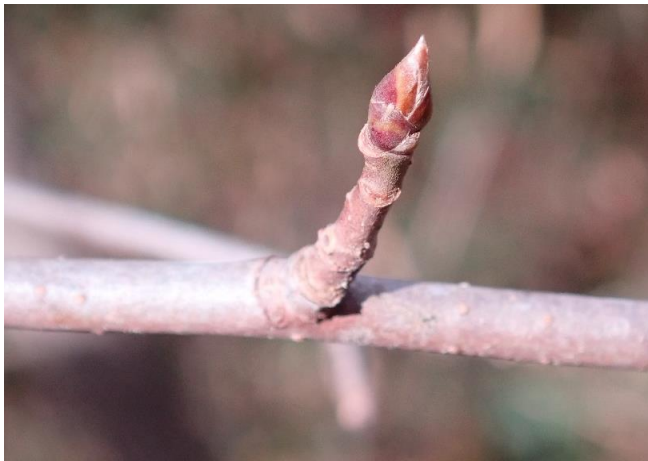
タラヨウの果実
(モチノキ科)
果実を団子状につける。



ニッサボク
(ヌマミズキ科)
世界三大紅葉樹の一つ



ニッサボクの冬芽



スズランノキの冬芽
(ツツジ科)
世界三大紅葉樹の一つ



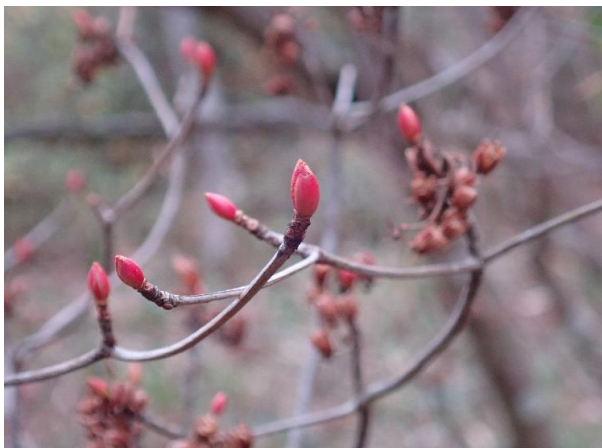
ロウバイの花芽
(ロウバイ科)



トチノキの冬芽
(ムクロジ科)
頂芽は大きい。水飴状の樹脂を分泌しべとつく。
葉痕はハート形。



ヤマコウバシの冬芽
(クスノキ科)
冬芽は水滴形で赤みを帯びる。
大きな冬芽は、混芽。



ベニドウダンの冬芽
(ツツジ科)



アセビの花芽
(ツツジ科)



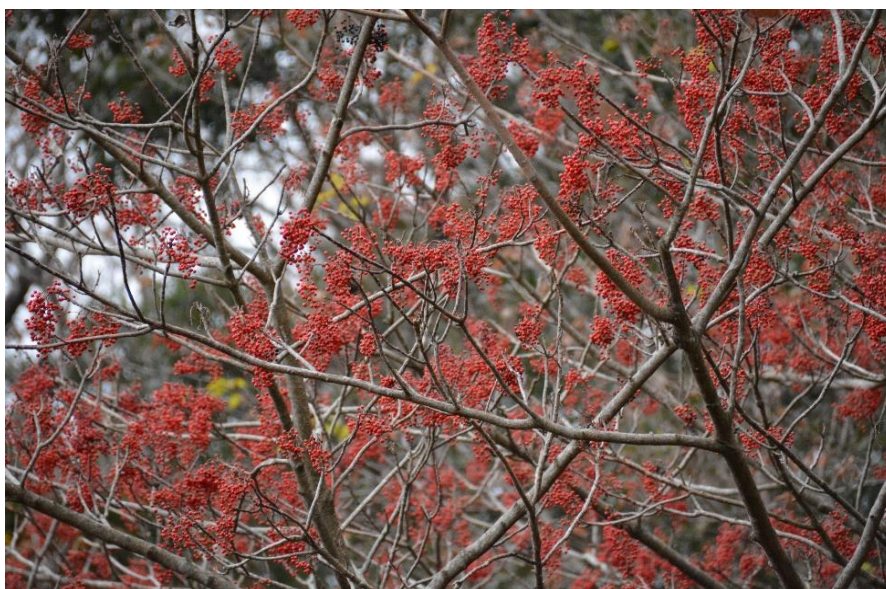
オニグルミの冬芽
(クルミ科)
冬芽に褐色の毛が密生。
葉痕は、羊の顔に似る。



ブラシノキ
(フトモモ科)
別名 はなまき(花槇)



ヒヨドリジョウゴ
(ナス科)



イイギリの果実
(ヤナギ科)
果実は、ブドウの房状にぶら下がる。